



今月の研究所だよりは、個人的な報告を書かせていただきます。自分としては十分に注意していたつもりでしたが、7月末から8月にかけて新型コロナウイルスに感染してしまいました。39度以上の発熱、喉の痛み、咳、頭痛などかなり酷かったのですが、軽症の扱いで自宅療養となりました。

日本では第7派に突入し、現時点では、世界1位の感染者数、世界2位の死者数となっていますが、一部の国では検査方針の変更により、検査数が減少しており実際には感染者数はもっと多いとも言われています。日本でも、実際の感染者数はもはや把握できておらず、いつ誰が感染してもおかしくない状況が続いています。

オミクロン株BA5が主流となったことで重症化率が下がったためか、予防対策も医療的な対応もほぼ個人任せになっていることが、自分が感染してよくわかりました。一口にコロナと言っても症状は千差万別です。無症状や本当に軽度の場合なら、保健所や自治体が提供するサービスも問題なく活用できると思いますが、症状がきつい場合はかなり厳しいことになります。高熱でふらふらしているのに、スマホの細かい画面を見ながらの入力作業は、人によっては無理ではないかと思いました。

自治体によって対応は違うのかもしれませんが、私の場合、発熱外来(かかりつけ医)のPCR検査で陽性となると、保健所からの

連絡を待つようにと言われました。薬(解熱剤など通常の薬)は、かかりつけ医が処方してくれました。保健所から電話がかかってくるのかと思いきや、ショートメールでMy HER-SYSなるものに自分の体調(体温、酸素濃度、症状など)を入力せよとの指令が送られてきました。パルスオキシメーターや食料を希望する場合は、「うちさぼ東京」に電話するようにと書かれていました。つまり、こちらからアクセスしないとサービスは受けられない仕組みです。

さいわい私の場合は家族(感染しませんでした)が濃厚接触者だったので、食料や必要なものは頼めたので助かりました。濃厚接触者の場合不要不急の外出はできませんが、生活必需品の買い物に出るのは構わないみたいです。喉の腫れがひどく、3日間くらいは食事ができず、水さえなかなか喉を通らない状態で、点滴を打ってほしいと思うくらいでしたが、自宅ではそれも無理です。一人暮らしで、家族などの支援がない場合は、かなり不安な思いをすることになります。

とにかく、無事に回復し、とくに後遺症もなさそうなので現在はホッとしているところです。皆さんもくれぐれもお気をつけて、と言いたいところですが、私もどこで感染したのか全く思いあたらないので、感染することを前提に備えをしたほうがいいですよとお伝えしておきます。